

# 宮崎県社会福祉事業団 第3次経営計画の概要

(計画期間 平成25年度から29年度まで)

## 計画の目的

第3次経営計画（以下「本計画」という。）は、従来の事業の見直しとともに、新たな事業の展開に向けて検討を行うことにより、県民福祉の向上に貢献し、ひいては、宮崎県社会福祉事業団の持続的発展に資するものとする。

## 計画の位置付け

第1次経営計画（平成17年度から21年度まで）及び第2次経営計画（平成22年度から24年度まで）は、法人経営の自立化を図る「経営改革」を行うことを目的としていたが、本計画は、宮崎県社会福祉事業団のあるべき姿等を具現化するための計画として位置付ける。

<b>基本理念（経営理念）</b>	宮崎県社会福祉事業団は 利用者の自立支援を基本に 安心して適切な福祉サービスの提供と 効率的な経営を行い 県民福祉の向上に貢献します	
<b>基本目標</b>	<b>基本方針</b>	<b>方策の方向性</b>
1 県民福祉の向上に貢献できる事業の推進及び体制の整備	(1) 地域福祉事業の推進	① 先駆性・モデル性の発揮 ○ 障がい児・者一貫支援体制の整備に向けた検討 ○ 発達障害者支援センター機能の充実・強化に向けた検討 ○ 相談支援体制の充実に向けた検討 ○ 児童、障がい者及び高齢者を総合的に支援するモデル事業の検討  ② 障がい者の高齢化への対応 ○ 当分の間は、高齢者施設等、他施設移行を適宜推進 ○ 将来の高齢化問題に向けた支援体制整備の検討  ③ 利用者の工賃向上 ○ 就労継続支援B型利用者の工賃向上 ○ 収益アップを図るための関係施設間の定期的な連携  ④ セーフティネットとしての役割の発揮
	(2) 今後の法人経営に向けた検討	① 運営する事業の今後のあり方の検討 ○ 各施設の経営状況等を踏まえた本体施設及び付帯事業の継続等の検証 ○ 各種委託事業の支援体制充実に向けた県等への要望、今後のあり方検討  ② 将来の法人のあるべき姿等に向けた検討 ○ 新たな事業の展開等に向けた施設や組織再編（本部機能を含む。）の検討 ○ 関係法令の改正状況等を踏まえた職員数（採用方法を含む。）の見直し ○ 障がい者の高齢化や発達障がい児・者支援に係る諸課題について、適宜、県等に政策提言  ③ 計画的な施設整備等 ○ 施設の老朽化対策について、計画的に、維持・補修を実施 ○ 将来の施設整備（大規模改修等）についての検討
	(3) 危機管理体制の強化	① 従来の危機管理体制の充実・強化 ○ 地域防災協力員への協力依頼等による非常時の避難態勢の充実 ○ 安全サービス委員会の開催等による危機管理意識の確立 ○ 事業団支援マニュアル（リスクマネジメントマニュアル等）の見直し ○ 防災士等の養成による危機管理体制の充実・強化及び地域防災への貢献  ② 沿岸施設における新たな津波対策 ○ 応急避難場所確保に資する施設整備等の検討 ○ 地元自治体の対策状況等を踏まえた将来の施設整備のあり方検討  ③ 災害に罹災した場合の利用者支援体制の構築等 ○ 入所利用者の生活物資の受給や二次避難場所の確保に向けた法人内他施設、県内他法人及び他県事業団との連携等 ○ 災害マニュアル等の整備に向けた検討
2 福祉ニーズの多様化・高度化に対応するための専門性の向上及び質の高い人材の育成	(1) 専門性の向上	① 専門的知識及び技術習得のための研修の充実 ○ 関係施設間の研修継続等による発達障がい児・者支援体制の強化 ○ 特別養護老人ホームにおける認知症ケアの充実 ○ 実施事業の専門性の向上に向けた部外研修等への積極参加  ② 各施設の管理部門強化のための研修の充実
	(2) 事業団職員としての質的向上	① 人事考課制度を活用した研修の充実・強化  ② 期間を定めて雇用する職員（有期雇用職員）を対象とした研修の充実 ○ 職場内研修の充実 ○ 各種研修への積極参加

<p>3 経営基盤の確立に向けた財政力の向上及び人材の安定確保</p>	<p>(1) 財政力の向上</p>	<p>① 黒字経営に向けた収支状況等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法人経営会議における定期的な経営状況の分析・検討</li> <li>○ 施設経営会議における定員充足率及び稼働率向上に向けた収支状況等の分析・検討</li> <li>○ 有資格者の適正配置等による各種加算の積極取得</li> <li>○ 効率的な経営に向けた事務の簡素・合理化等</li> </ul> <p>② 計画的な資金の積立</p> <p>③ 新たな収入確保策の検討</p>
<p>4 経営基盤の確立を図るための施設機能の充実・強化</p>	<p>各施設の基本的方向及び今後の取組み</p>	<p>① ひかり学園（障害児・者支援施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入所施設利用者に対する療育支援の充実</li> <li>○ 多機能型事業所及びグループホーム・ケアホーム（以下「グループホーム等」という。）の利用者確保・稼働率向上、グループホーム等利用者の高齢化対応に向けた検討</li> <li>○ 利用者の工賃向上</li> <li>○ 特別支援学校との連携強化</li> <li>○ 「県北地域の拠点施設」の基礎づくりに向けた検討</li> <li>○ 津波対策に向けた取組みの推進</li> </ul> <p>② 高千穂学園（障害児入所施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来の施設形態のあり方検討</li> <li>○ 在宅サービスの充実</li> <li>○ 将来の施設の大規模改修等に向けた検討</li> </ul> <p>③ ひまわり学園（障害児入所施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来の施設形態のあり方検討</li> <li>○ 発達障害者支援センターの業務の位置付け見直し等に向けた検討</li> </ul> <p>④ 青島学園（児童養護施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法制度の動向を見極めながら、将来の施設のあり方検討</li> <li>○ 入所児童に対する支援の充実</li> <li>○ 津波対策に向けた取組みの推進</li> </ul> <p>⑤ 向陽の里（知的障害者総合福祉施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入所利用者の計画的な地域生活移行</li> <li>○ 知的障がい者等の高齢化に向けた支援体制整備の検討</li> <li>○ 多機能型事業所、グループホーム等及び居宅介護の利用者確保及び稼働率向上</li> <li>○ 利用者の工賃向上</li> <li>○ 新たな事業の展開等に向けた検討</li> </ul> <p>⑥ 清風園（救護施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ セーフティネットとしての役割の発揮</li> <li>○ 入所利用者の計画的な地域生活移行</li> <li>○ 入所利用者の高齢化・障がいの多様化等への対応</li> <li>○ 救護施設の機能強化に向けた取組みの検討</li> <li>○ 津波対策に向けた取組みの推進</li> </ul> <p>⑦ 霧島荘（特別養護老人ホーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域社会から選ばれ、地域ニーズに応えられる高齢者施設を目指す</li> <li>○ 専門性の向上に向けた職員の人材育成</li> <li>○ 利用者の確保及び安定した稼働率の確保</li> </ul> <p>⑧ 東岳荘（養護老人ホーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ セーフティネットとしての役割の発揮、利用者の安定確保</li> <li>○ 利用者支援の充実に向けた検討</li> </ul> <p>⑨ みやざき荘（特別養護老人ホーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域社会から選ばれ、地域ニーズに応えられる高齢者施設を目指す</li> <li>○ 専門性の向上に向けた職員の人材育成</li> <li>○ 利用者の確保及び安定した稼働率の確保</li> <li>○ 津波対策に向けた取組みの推進</li> </ul> <p>⑩ 青島荘（軽費老人ホーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在の経過的軽費老人ホームの運営</li> <li>○ 津波対策に向けた取組みの推進</li> </ul> <p>⑪ 向陽園（障害福祉サービス事業所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の安定確保及び稼働率向上</li> <li>○ 利用者の工賃向上</li> <li>○ 将来の施設のあり方等検討</li> </ul>